



南中だより



【学校教育目標】
自ら考え判断し正しい行動
のできる生徒

第10号

令和7年1月29日発行

文責 校長 田嶋直美



空気の教育

新年最初の学校だよりです。本年も変わらずご支援・ご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年10月～11月に3年生の面接練習を行いました。「私の中学校の自慢は？」の問いに、「行事に全力」「男女問わずみんな仲が良い」「先生と生徒の関係がとても良い」……などの答えがある中、「ボランティア活動に積極的」という答えも多くありました。おそらく1・2年生に聞いてもこの答えは出てくるでしょう。きっとそれは、ここ南地区の昔から続く地域とのかかわりあいが、学校を取り巻く空気(雰囲気)になっているからなのだと思います。そして、みなさんの先輩たちが築き上げてきた伝統でもあります。そこで、ある校長先生から伺ったこんな話を思い出しましたので、紹介します。

現代の日本人は、ハウスとホームをごっちゃにしている。建物とその中で営まれる生活を混同して、その誤りに気づかない。

人間の生活しているところには、やがて一定の空気、雰囲気ができる。ハウスの中にこの空気が生まれた時に、ホームになるのである。ただ、空気は一朝一夕にはできない。時間がかかる。昔からどこの家にも、それぞれ家風というものがあった。代々の人たちが作り上げ、受け継いできた生活の伝統である。

子どもは栄養さえ良ければ育つと考えてはならない。目に見えない心の糧が与えられないと一人前の人間になれないのである。核家族の大人たちはそのことを忘れてしまうと、とんでもない子どもが育つようになる。このごろ、「しつけ」がやかましく言われるようになったのは結構である。しかし、いくら口でしつけても、必ず親の目が届かないところが出てくる。そこで、子どもが道を踏み外す。後になって、いくら「うちの子に限って…」などと言ってみても取り返しがつかない。口先だけのしつけには限界があるのだ。

空気による教育ならそういうことがない。四六時中、寝ても覚めても空気は子どもを包んでいる。子どもだけではない。親、大人を包んで滅多なことはさせないようにする。教育は、こういう目に見えない影響力によるのが本道である。教育のことを薫陶という。これはまさに空気による教育を意味する。言葉や力だけによって行う教育は、心の中から変えることは難しい。空気による感化は、いつの間にか心の奥底から変える。

空気が大切なのは家族に限らない。学校にも独自の空気、校風がなければいけない。授業で学ぶことに劣らず、校風の感化ということは大きい。企業には社風があり、土地土地には土地の気風がある。これもすべて空気の作り上げた精神的特質であると思われる。

…。空気、空気というが空気はどうしてできるのか、という人がいるかもしれない。空気の作り方について書いておきたい。作り方というのは正しくない。むしろ、空気のでき方というべきであろう。

食事の時、「いただきます」と言う。昨日も言った。今日も言った。明日も言うだろう。これがずっと続くと、やがて黙って食事ができなくなる。空気ができたから、空気が「いただきます」を命じる。端から余計な注意をする必要は全くない。小さなことながら空気の教育の一例である。(裏面に続く)

一般にこの心の空気は、「形式×繰り返し×時間」によってできる。食事の前に「いただきます」と言うのが形式である。一度や二度ではいけない。繰り返し言う。しかも、何年と続けていて初めて雰囲気、空気が醸し出される。「ローマは一日にしてならず」と言うが、空気も一日ではできない。だからこそ、尊い。

南中生、活躍する！



【第77回坂戸地区書きぞめ審査会】

○推薦（県中央審査会出品）

2年
1年

○特選

3年
2年
1年

○優良

3年
2年

<災害に強いまち鶴ヶ島>

昨年の4月、鶴ヶ島市に着任した際、次のようなお話を聞いたことを覚えています。

「鶴ヶ島市は、埼玉県ほぼ中央に位置し、交通のアクセスが良く、首都圏のベッドタウンとして発展してきました。また、市内には大きな河川はなく、地形もほぼ平坦であるため、近年の自然災害においても比較的被害が少ないのです。だから、鶴ヶ島市は、『災害に強いまち』といわれているのです。」

日本は地球上で「特に地震の起きやすい場所」にあるともいわれています。災害に強いまちといわれている鶴ヶ島においても、有事に備えておくことはとても大事なことです。学校でも、避難訓練を年4回行っています。その中の1回は、南小学校との合同訓練です。第3号学校だよりでも紹介しました。

来年度は、市内の全小中学校で、「在校中に鶴ヶ島市内において震度5弱以上の地震が起きた場合は、児童生徒は保護者への引き渡しを実施」との共通対応になる方向で計画が進んでいます。本校でも、生徒たちの安全を第一に考えたときに、中学生も保護者のみなさまに引き渡すことを検討しております。それに伴い、来年度は、南小中合同引き渡し訓練を行うことも計画しています。有事に活かせる訓練を学校、生徒、保護者、地域のみなさまと行っていけたらと考えています。

鶴ヶ島市からの通知等、詳細については、新年度に入りご連絡いたします。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2月の予定（下校時刻17:00）

1日(土) 修学旅行(2年生)(1/30~)
3日(月) 振替休業日(2年生)
4日(火) 学校朝会
2年生総合まとめ取り
5日(水) 生徒会の日(3年生最終)
心と身体の健康観察
7日(金) 第3回漢字検定
10日(月) 学年末試験(3年生)
11日(火) 建国記念の日
12日(水) 学年・学級の日
13日(木) 生徒朝会
県公立高校出願(~17日)

17日(月) 2年生朝会
18日(火) 南小中学校運営協議会(南小)
県公立高校志願先変更期間(~19日)
19日(水) 試験前部活動停止期間(~25日)
21日(金) ふれあいデー
22日(土) 南小学校公開日
23日(日) 天皇誕生日
24日(月) 振替休日
25日(火) 1年生朝会
26日(水) 県公立高校学力検査
学年末試験(1・2年生)
27日(木) 県公立高校実技検査・面接
中央委員会 3年特別日課(~3/13)